

3月4日

公的責任を果たし、すべての  
農家に届く農業支援策を  
経済観光局審査で森田たき子議員



質問する森田たき子議員

神戸市の新年度予算農政費は一般会計  
事業のうち44億で全体の0.48%しかあり

## 予算特別委員会審査から③

1. 農家への物価高騰対策について
2. 中小企業・小規模事業者への賃上げ支援について
3. 地域商店支援について
4. 小規模農家支援について
5. 販路先拡大につながる地産地消について

質疑項目

ません。農業は市民の生活を支えるだけでなく、地域防災を含め地域を守る役目も果たしていますが、市内の農業は担い手不足、水稻の作付面積の減少に歯止めがかかりません。農家が農業を諦めないように安心して生産に踏み出せるよう、予算を増額して農業の再生に力を入れるべきです。森田議員は燃料代、電気代、飼料代等が1.5倍になり、物価高で苦し

む西区の農家の声を紹介し、早急に高騰分への直接支援が必要だと質しました。

### 答弁ダイジェスト

**上田副局長：**市独自で農業用資材の高騰に対する市内産堆肥の購入支援を実施している。燃料費の支援等は、物価高支援ということではおこなわずに、下支えをする支援として継続していく。

**森田議員：**中東の紛争で、非常に情勢が不安定となり燃料費の高騰が予測をされる。市独自の物価高騰対策をするべき。多くの農家が支援から外されている。物価高騰対策は全ての農家を対象に、公平にやるべきであり、公的責任を果たすべきだ。

3月5日

物価高騰対策として  
水道料金を引き下げよ  
水道局審査で大かわら鈴子議員



質問する大かわら鈴子議員

水道は市民生活に不可欠なインフラで、命に直結する重要なものです。長引

1. 物価高騰対策について
2. 職員定数削減の問題について
3. 水道事業の広域化と民営化・民間委託について

質疑項目

く物価高騰の中で、一昨年には水道料金が引き上げられ、市民負担は年間41億円の増。さらに電気料金など物価上昇が続き、暮らしはますます厳しくなっています。大かわら議員は、物価高騰対策として水道料金の引き下げをおこなうべきと質しました。

### 答弁ダイジェスト

**大かわら議員：**今回の重点支援交付金で国交省は物価高騰対策として迅速に広く効果が得られると、「上下水道の減免」を特だしで例示している。神戸市も市民の苦難に寄り添う姿勢が必要だ。

**永田副局長：**ご指摘のとおり交付金の

推奨事業で水道料金の減免が示され、他の自治体でも実施されているが、神戸市は一律の支援でなく影響の度合いを勘案したため、水道料金の減免は実施しない。

**大かわら議員：**水道料金の福祉減免制度は、他都市では実施されているが、神戸市では漏水対応以外一切ない。影響の度合いをいうなら大変な市民の暮らしを支えるために高齢者、障がい者、生活保護世帯などに対して水道料金の福祉減免制度を設けるべきだ。

**藤原局長：**水道事業は『独立採算』で、誰かを減免すれば、その負担は他の利用者の方にかぶって頂くという考え方から難しい。

**大かわら議員：**政策的な目的をもって一般会計からの繰り入れを求めるべきだ。公営企業の独立採算制の限界を指摘する議論も踏まえ、市民福祉の増進が中心に座る施策の展開を求める。

## 市民の命と暮らし最優先の予算に

3月26日の本会議で、日本共産党神戸市会議員団の松本のり子議員は、2026年度予算案の反対討論に立ちました。実質賃金や年金が目減りするなか、市の予算案は生活者への直接支援はなく、年3回程程度の食品配布など「自助・共助」頼みとなっています。さらに

神戸市は市バスの大幅な路線廃止や減便をする予定で、市営住宅の削減や学校の統廃合など公共サービスを後退させています。松本議員は、三宮再整備や空港国際化などの不要不急な大型開発を削減し、市民の命と暮らし最優先の予算に組み替えるべきと求めました。



松本のり子議員が  
反対討論

3月5日

## 生徒や保護者の不安の声に 寄り添い丁寧に対応を 教育委員会審査で西ただす議員



質問する西ただす議員

- 1. KOBE◆KATSUについて
- 2. 学校給食の無償化について
- 3. 隠れ教育費について
- 4. 学校統廃合の中止について

質疑項目

中学校の部活動の地域移行が拙速にすすめられ、9月からコベカツをスタートさせようとしています。準備が十分でないため、月会費で8000円に設定されている活動もあり、補助があると神戸市は言いますがまったく足りません。さらに、校区内で参加できない場合は移動が必要になり、安全対策、体験格差など、生徒、保護者、学校関係者からの不安の声は増えるばかりです。西議員は「自転車で20分以内に行けるところとされているが、暗い夜は心配だ」という保護者の声がある。また、障がいを抱えた生徒の(活

動の) 機会を奪うのでは」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

**下條事務局部長：**夜の移動がご不安ということは、参加するコベカツがどのような活動時間になっているか総合的に検討いただきたい。障がいのある方は参加しやすい、オンライン、見守る活動も検討しているので選択していただきたい。

**西議員：**(活動の) 範囲が狭くなる。今までの体験ができなくなる。

**下條事務局部長：**各地域の特徴を各学校からヒヤリングしたい。

**西議員：**スタートしてからでは困る。移動支援については国がすべての生徒が参加できるよう環境の整備が重要だと言っている。対応が必要だ。解決しないまま、進むべきではない。

3月6日

北神消防署格上げ

## 職員を増やす 抜本的強化を

消防局・危機管理局審査で朝倉えつ子議員



質問する朝倉えつ子議員

2028年度から北神分署は北神消防署へと格上げされます。市は土砂災害など、

消防局

- 1. 北消防署の新設について
  - 2. 救急システムについて
- 危機管理局
- 3. 避難所のあり方について

質疑項目

自然災害に対応するためと言いますが、国の「消防力の整備指針」から見れば、消防署所の充足率は96.8%、人員充足率は92%と、まだまだ足りていない状況です。朝倉議員は、北神消防署のオープンに向け、市全体の職員を増やし、指針を充足させるべきと求めました。

### 答弁ダイジェスト

**朝倉議員：**北神消防署へ格上げをすると署所や人員の指針充足100%になる見込みはどうか。

**丹沢総務部長：**北神地区は自然災害が

あり、一定の消防力は必要と考える。署所の変化はない。2028年度中の運用開始に向け、消防署としての機能が果たせるように必要な体制は検討していきたい。

**朝倉議員：**人を増やさずにどこからか回ってくるのではなく、体制を強化して進めていただきたい。職員も部隊も増えるのか。

**丹沢総務部長：**今後の検討になる。

**朝倉議員：**消防職員の定数について1494人から1520人へ増員するが、定年延長によるもの。もっと積極的な増員が必要ではないか。指針充足には職員100人ぐらい足りない。当局として目標や計画はお持ちか。

**栗田局長：**若手職員もしっかり採用し、ベテラン職員の経験や技術を傳承し、消防力を高めていきたい。

**朝倉議員：**指針充足にむけ、目標と計画を持つべきだ。

3月6日

## 『住民自治』を支える 役割こそ区役所で 地域協働局審査で松本のり子議員



質問する松本のり子議員

- 1. 区役所に求められる役割について
- 2. 困難な問題を抱える女性への支援策について
- 3. 区役所窓口職員の正規化について

質疑項目

区役所は地域に最も身近な存在として、住民と一緒に地域課題の解決に取り組み、いつまでも住み続けられるまちにしていくことが本来の役割ですが、現状は地域行事への参加や地域の既存団体へ意見を聞く程度です。神戸市は来年度から職員が地域の課題や将来像についての対話を推進するとしています。松本議員は、地域交流センターを利用して、職員が地域のそれぞれの課題をつかみ、市の政策として盛り込めるよう対話を進めていくべきと求めました。

### 答弁ダイジェスト

**保科副局長：**地域課題の解決や支援は、地域協働局と区の地域協働課が分担しながら取り組む。職員研修を実施し、職員が自信を持って住民と対話できるようにしたい。

**松本議員：**対話だけではだめだ。例えば児童館が狭いことや、小学校の統廃合をやめてほしいという声があがっているが、そういった地域の声を政策として上げていくべきだ。

**保科副局長：**児童館や小学校の問題は局で考えることだ。対話でいただいた意見は各局に伝える。

**松本議員：**住民がいつまでも住み続けられるように、市の担当部局に問題を政策としてあげることが区役所の役割だ。